

## 白神のスフィンクス出現！

先ごろ秋田市に在住の堀内氏より八峰町長あてに写真（右下）とお手紙をいただき、その後ジオパーク推進室にそれが回ってきました。堀内氏は岩間に立ち上がる波頭を撮影し、帰宅後引き伸ばしてみたら、ジーツと白神山地を見ている立派な男性の顔を岩壁に見つけ驚いたそうです。これはきっと白神山地の守護神ではないかと思ってお手紙を送ってくれたのだそうです。

写真を頼りに早速その岩を探しに出かけましたが、あいにくの悪天候で当日はとうとう特定できませんでした。しかし探し出すという行為がとても楽しいものでした。これは幼児や小学校低学年に「スフィンクス探し」的な行事を企画してみたいとその時思いました。

地域の人に聞いてみたところ、地域では「獅子岩」と呼んでいたそうです。少し離れて見ると、なるほど「獅子」に見えます（写真・上）。私は白瀑神社の狛犬にも似ているなあと思いました。狛犬は獅子と似たような姿で表現される架空の動物で、神社・仏閣などの聖域を守り邪悪の出入りを禁ずる目的で置かれた鎮獣と考えられているそうです。

スフィンクスはエジプトのピラミッド群と並んで自然岩から掘り出された巨大スフィンクスが良く知られていて、人間の頭とライオンの胴体をもちピラミッド群を守っているとも考えられています。滝の間海岸にみられる岩もやはり人間の顔と獅子（ライオン）の組合せなので、もしかしたらこれは白神山地を守るために日本海の荒波が彫ったスフィンクスではないかとも思います。

この岩は見る方向によっていろいろなもの形に見える不思議な岩です。写真（右下）で顔の下にもう1つの顔が見えます。また、写真（上）の



写真撮影：堀内 威氏

狛犬の尾に当たる部分は女性の顔に見えるという人もいます。新しい発見があるかもしれないので機会を見てぜひ見学してみてください。

さて、このスフィンクスを形作っている地層に注目してみましょう。今から2千万年前から7百万年前までの長い時間をかけて作られた「岩館層」と呼ばれる地層で、浅い海底にたくさん火山が噴火したときにできた硬い溶岩と、火山灰からできた比較的軟らかい凝灰岩から出来ています。そのため荒波を受けたとき硬い溶岩は残り、軟らかい凝灰岩は削られてしまい、それでいろいろな形の彫刻が出来上がるという訳です。

この「岩館層」が出来た時代と日本海ができた時代とが重なり合っているのですが、このことも興味深いことですね。

八峰白神ジオパーク推進協議会

会長 工藤英美

八峰白神ジオパーク推進協議会

秋田県山本郡八峰町

峰浜田中字野田沢20-1 峰栄館2階

☎0185-70-3881